

平成30年度 事業計画

平成30年4月1日より平成31年3月31日まで

1. 【事業実施の方針】

フォーラムは、良好な地域環境の確保と地球環境保全に関する意識の高揚・保全活動に係る事業を行い、「環境都市うつつのみや」の実現に寄与することを目的としている。

平成26年度指定管理者第2期を取得した宇都宮市環境学習センターのフィールドを最大限に生かすとともに、会員の参加を得て楽しくその目的達成にまい進したい。

(1) 【市民・事業者・行政（以下「各主体」という）の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業】

- ① 全面改訂したホームページの充実と会報誌「Eco together」、さらにメルマガ等での情報発信に努め活動の見える化を進めとともに、各主体間の環境情報の提供と交流を行う。
- ② 市内で開催される環境イベントへ出展し、当法人の活動内容を積極的に広報する。

(2) 【各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業】

- ① 次の部会活動を継続実施する。定期的に部会長会議を開催し情報共有と連携を強化する。
 - ・ 生物多様性保全部会
 - ・ 里山保全部会
 - ・ 再生可能エネルギー部会
- ② 部会独自の活動だけでなく、環境学習センター、団体、大学等との連携事業を通して、活動の場を広げ環境ネットワークの醸成に努める。

(3) 【テーマに応じた環境活動の企画・実践に係る事業】

- ① テーマに応じた環境活動を企画し、市民が気軽に参加し学べる機会の提供に努める。
主に(2)項に示す部会及び事務局が中心になり体験型イベントを企画運営する。

(4) 【宇都宮市環境学習センター指定管理者事業】

平成29年度も、前年度に続き、過去最高を更新した。平成23年度に指定管理者に選定いただいた以降、平成26年度に引き続き指定管理者第2期業者に選定され、平成30年度は第2期5年目（最終年度）を迎える。さらなる事業の質的向上を図り、幅広い層の参加を得て活動を進めるとともに、指定管理者第3期業者に選定されるよう、フォーラムの皆様の知恵を総動員しながら、より魅力のある提案書を作成したい。

また、平成30年度も、「第3次宇都宮市環境基本計画」や「生きものつながりプラン」に掲げる目標数値の達成に向け、関連講座等の充実を図りたい。さらに市民ニーズの的確な把握とフォーラム事業との連携を通して、主軸である環境学習機会提供機能の強化を図るとともに、安定した事業運営のため体質強化に努める。

2. 【事業計画】

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	
1) ホームページの運用 【運営：情報部会】	26年度末全面改訂したホームページの内容を充実し活動の見える化を進める。各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、機能の充実を図る。 さらにメルマガ等を活用し、会員へのホットな情報発信にも努める。
2) 会報誌 (Eco together) の発行 【運営：情報部会】	特集記事の企画、会員の登場、他団体と連携した紙面づくりを行い、タイムリーな環境情報を掲載する。平成30年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりを心がける。 発行予定回数：4回(6月、9月、12月、3月) 配布先： 従来の会員に加え関係団体・機関へも配布
3) 環境イベントへの参画 【運営：情報部会】	下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRと入会活動に努める。 ① もったいないフェア (9月予定) 場所：宇都宮城址公園 ② エコテック&ライフとちぎ (11月予定) 場所：マロニエプラザ ③ その他環境イベント

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	
【運営：生物多様性保全部会】	1) 行政、他団体、学生等と協力して、生物多様性保全に関する事業を展開する。 ①生物多様性を楽しみながら身近に感じられる取組の実施 ②生物多様性を理解することができる、わかりやすい教材づくり
【運営：里山保全部会】	2) 里山環境の保全と環境学習の場を提供する。 ①里山の保全活動： 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行う。 ②環境学習センター事業「みずほの自然探検隊」の企画・運営支援を行う。
【運営：再生可能エネルギー部会】	3) COP21 パリ協定が発効し、世界は脱炭素社会実現に向けて舵をきり、改めて再生可能エネルギーの重要性が注目されている。遅れている日本の再生可能エネルギーの創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探るとともに、環境学習の場を提供する。 ① 勉強会・施設見学会・実践者を講師にした研修会の実施等 (毎月) ② 部会員の追加募集 ③ 環境学習センター事業の支援 ・「栃木の再生可能エネルギー施設見学会 (地域エネルギーの有効活用他)」の企画運営 ・「チャレンジもったいない」「エコまつり」等環境イベントへの参加

(3) テーマに応じた環境活動の企画・実践に係る事業

事業計画

【運営：事務局】

- 1) 体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。
 - ① 野鳥観察会（日本野鳥の会栃木との連携事業）
 - ② プチ農業体験（地元さつきプロジェクトチームとの連携事業）
7年目を迎える今年度は、「野菜づくり」を通じて自然の恵・大切さを知る
 - ③ 環境映画会&ワークショップの開催
大学と連携し市民向けに、食品ロスに着目した映画とワークショップを企画運営する

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画

【運営：学習センター事業部】

平成30年度は、指定管理者第2期の5年目（最終年度）にあたる。年間利用者は前年度に引き続き過去最高を更新するなど、安定した実力がついてきた。引き続き事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を図りたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めながら、第3期指定管理者に選定されるよう、魅力的な提案書を作成する。

1) 環境学習機会提供機能

「地球温暖化」と「生物多様性」を重点テーマに、講座・展示の充実を図るとともに、新しい参加者層獲得のためきめ細かい活動を展開する。また、平成27年度末に「宇都宮市環境基本計画」が改定され、「生きものつながりプラン」が策定された。これら計画に掲げられた数値目標の達成を図るとともに、環境学習拠点施設としての役割を果たしていく。

2) 活動支援機能

昨年度活動強化された「こどもエコクラブ」の事務局として、引き続き活動を支援する。さらに、学習センターで活動している「自主活動グループ」の活性化を図るとともに、新たなグループの立ち上げに向け働きかける。また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての活動支援参加を働きかける。

3) 交流促進機能

自主活動グループ、地元自治会、各種団体、地元高校、企業等の支援をいただき今年度も「エコまつり」「チャレンジもったいない」等を実施し、新たな市民の参加を促進する。

4) 情報提供機能

ホームページ（FaceBook含む）での情報発信力強化、1階展示場の改善、再生品提供事業・視聴覚教材・各種環境団体などの情報提供の充実を図る。

5) 体質強化機能

市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。

6) 市民サービスの向上

フォーラムを含め外部評価を積極的に実施し事業運営に反映する。

【利用者目標人数：34,500人】